

# 2023年3月期第1四半期 (FY2022 1Q) 決算概要

2022年8月1日

千代田化工建設株式会社



**I** 決算概要

**II** 成長戦略トピックス

**III** 主要遂行中案件

# I 決算概要

# 1 ハイライト

1.

## 業績

リスクマネジメントを徹底し、手持案件を遂行中。  
2Q以降、海外大口案件の工事が本格化。

2.

## 資材費・輸送費高騰リスクへの対応

各案件への影響を注視し、顧客、パートナーと協力して  
影響を最小化すべく取り組み中。

3.

## 成長戦略

水素事業、カーボンニュートラル分野、ライフサイエンス  
分野及びDX\*も着実に進捗中。

\* デジタルトランスフォーメーション

## 2 損益計算書

(単位:億円)

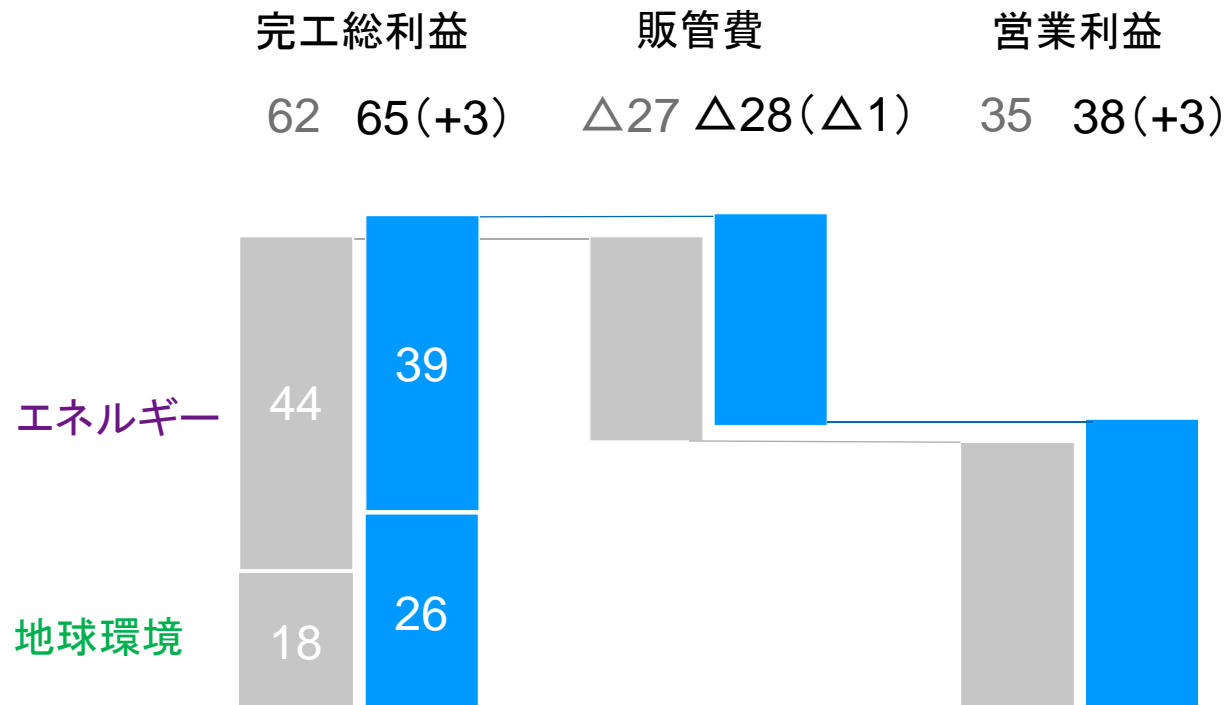
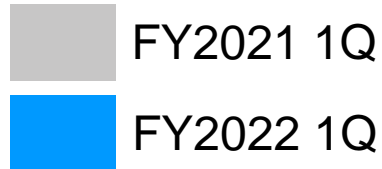
	FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減	FY2022 通期予想	進捗率
完成工事高	805	757	△47	5,000	15%
完成工事総利益	62	65	3	350	19%
完成工事総利益率	7.7%	8.6%	+0.9pt	7.0%	-
販売費・一般管理費	△27	△28	△1	△150	-
営業利益	35	38	3	200	19%
経常利益	35	35	△0	180	20%
純利益*	△172 <sup>(注)</sup>	22	194	115	19%
為替レート(円/米ドル)	111	137		120	

(注) FY2021 1Q: イクシスLNGプロジェクト(完工済み)で特別損失△204億円を計上、仲裁は解決済み。

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

# 3 利益増減分析

(単位:億円)



( )内: FY2021 1Q比増減

# 4 バランスシート

(単位:億円)

	FY2021 4Q	FY2022 1Q	増減		FY2021 4Q	FY2022 1Q	増減
流動資産	3,727	3,417	△310	流動負債	3,507	3,194	△313
現金・預金等	688	716	28	営業負債*3	2,395	2,392	△3
営業資産*1	590	685	95	工事損失引当金	348	348	△0
未収入金	832	327	△505	未払金	440	173	△268
JV持分資産*2	1,414	1,434	20	固定負債	290	265	△25
固定資産	227	238	10	純資産	158	195	38
総資産	3,954	3,654	△300	負債・純資産	3,954	3,654	△300
				自己資本	157	194	37
				自己資本比率	4.0%	5.3%	+1.4pt

\*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金及び契約資産＋未成工事支出金

\*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

\*3 営業負債＝支払手形・工事未払金＋未成工事受入金

## 5 受注高・受注残高

(単位:億円)

	FY2022 1Q 受注高	FY2022 1Q末 受注残高
エネルギー分野	94	9,825
地球環境分野	112	3,852
合計	206	13,677

受注残高主要案件	1,000億円以上	100億円以上
エネルギー分野	カタールNFE LNG 米国ゴールデンパスLNG	インドネシア・タングーLNG
地球環境分野	インドネシア銅製錬	バイオ医薬品原薬製造工場

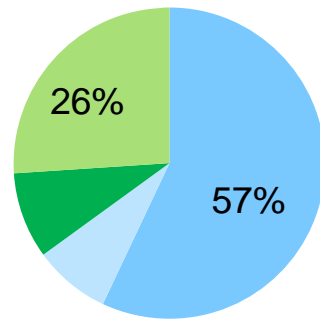


## 完成工事高内訳

(単位:億円)

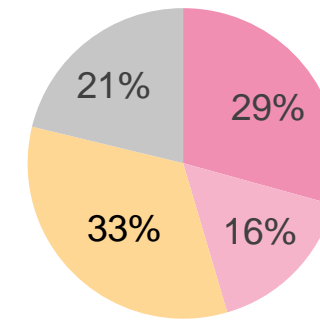
【FY2022 1Q】

## 分野別



エネルギー	493
■ LNG・その他ガス関係	435
■ 石油・石油化学	58
地球環境	265
■ 医薬・生化学・一般化学関係	67
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	197
合計	757

## 地域別



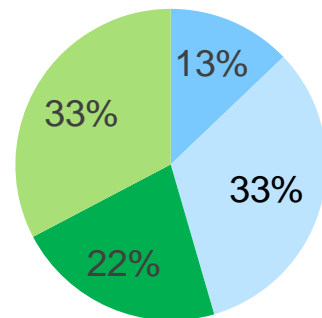
海外	596
■ 中近東・アフリカ	223
■ 北中南米	122
■ アジア・オセアニア	250
■ その他海外	0
■ 国内	162
合計	757

## 付表2 受注高内訳

(単位:億円)

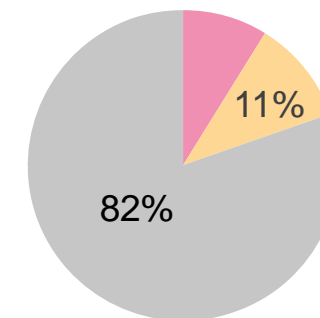
【FY2022 1Q】

### 分野別



エネルギー	94
■ LNG・その他ガス関係	26
■ 石油・石油化学	68
地球環境	112
■ 医薬・生化学・一般化学関係	45
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	67
合計	206

### 地域別



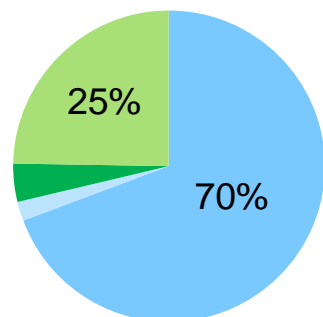
海外	36
■ 中近東・アフリカ	19
■ 北中南米	△4
■ アジア・オセアニア	22
■ その他海外	0
■ 国内	170
合計	206

## 受注残高内訳

(単位:億円)

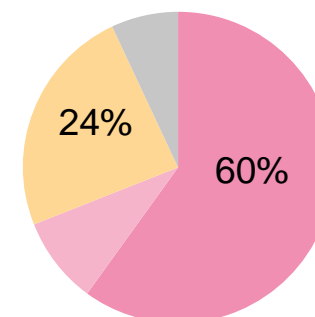
【FY2022 1Q】

## 分野別



エネルギー	9,825
■ LNG・その他ガス関係	9,533
■ 石油・石油化学	292
地球環境	3,852
■ 医薬・生化学・一般化学関係	480
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	3,372
合計	13,677

## 地域別



海外	12,670
■ 中近東・アフリカ	8,143
■ 北中南米	1,207
■ アジア・オセアニア	3,320
■ その他海外	0
■ 国内	1,007
合計	13,677

## Ⅱ 成長戦略トピックス

# 1 CO<sub>2</sub>分離・回収

## CO<sub>2</sub>分離・回収の新技术(固体吸収法)の開発 ～NEDO\*グリーンイノベーション基金事業～

- 天然ガス利用のカーボンニュートラル化に向けて、ガスタービン排ガスからの低濃度CO<sub>2</sub>分離回収コストの低減を実現できる固体吸収材をコアとする国産技術を開発。

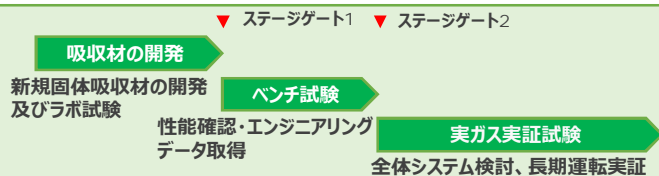
### 事業イメージ

吸収材開発   プロセス開発   実ガス実証

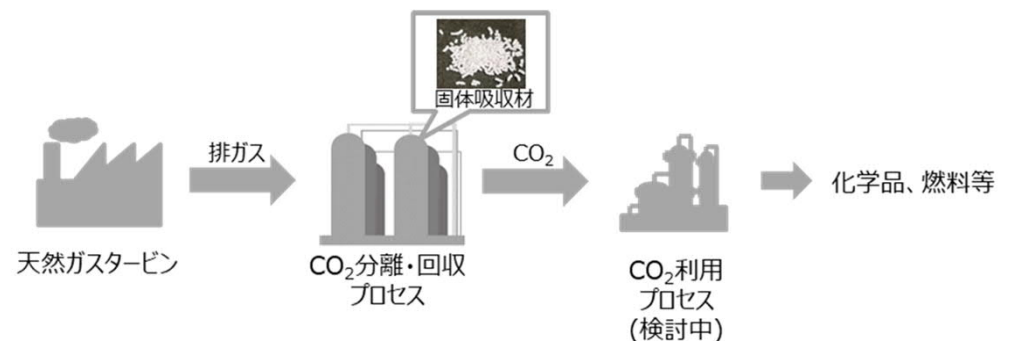


事業期間: 2022年度～2030年度(9年間)

2022      2024      2026      2030



天然ガス燃焼排ガスからのCO<sub>2</sub>分離・回収プロセスの概念図



\* 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

## 2 水素事業 ～ SPERA水素™ ～

### SPERA水素 (MCH-LOHC\*)によるグローバルなビジネス展開

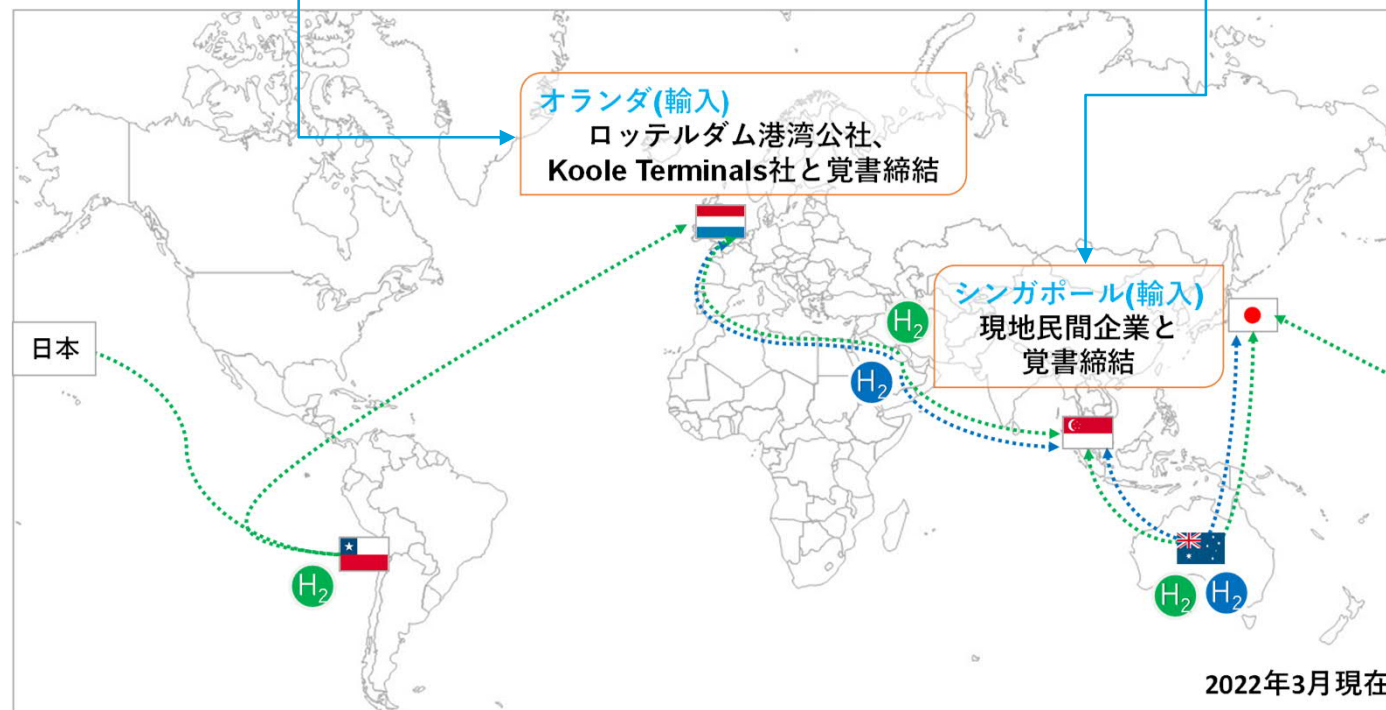
#### オランダ

「輸入水素のゲートウェイ」を目指して、商業規模の水素輸入による国際間水素サプライチェーンの構築の検討が進展中。

#### シンガポール

クリーン水素サプライチェーン事業の実現に向けた具体的な検討が進展中。

グローバル水素サプライチェーンをつなぐSPERA水素



\* MCH: methylcyclohexane (メチルシクロヘキサン)  
LOHC: Liquid Organic Hydrogen Carrier (液体有機水素キャリア)

## 2 水素事業 ～ SPERA水素™ ～

### ドイツ・ショルツ首相によるAHEAD\*1脱水素デモプラント視察 (2022年4月29日 川崎臨海部)



© Bundesregierung/Bergmann

視察の様子 左から榊田会長兼社長、ショルツ首相、井内常務



ショルツ首相(左から四番目)との集合写真

“日独エネルギーパートナーシップを通して、両国の協力関係をさらに促進していきます。そこで重要となってくるのが、水素とその産業利用です。明日は千代田化工建設を視察し、ブルネイで製造された水素が日本に輸送され、処理を経る工程について話を伺います。この技術は国際間水素サプライチェーンの構築にあたって世界で模範となりえます。”

2022年4月28日在日ドイツ商工会議所60周年記念イベント  
「日独ビジネス・ダイアログ」におけるショルツ首相講演録\*2より抜粋

\*1 次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合 (Advanced Hydrogen Energy chain Association for technology Development)

\*2 <https://japan.diplo.de/ja-ja/themen/politik/-/2525396> (ドイツ連邦共和国大使館HP)



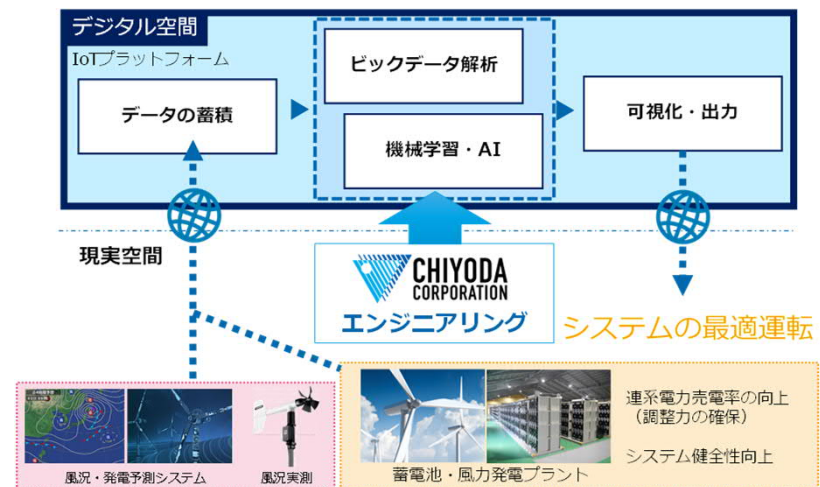
### 3 エネルギーマネジメント事業

#### 蓄電エンジニアリングを梃に地域ユーティリティ事業への展開

- 北海道北部風力送電(株)より世界最大級の蓄電池システム(当社が建設中)の20年間の保守業務を受注。
- 再生可能エネルギー導入の拡大に資する蓄電池のより有効な「使い方」に着目した実証業務も遂行中。
- 再生可能エネルギーと蓄電を組み合わせた複合型案件を通して、地域ユーティリティ事業に展開を目指すとともに、地域創生にも貢献していく。



蓄電池システム内観



AIを活用した出力予測に基づく蓄電池システムの最適運転(実証中)



# 4 ライフサイエンス事業

## 医薬品分野における次世代製造プロセス技術の展開

- シオノギファーマ(株)が主導、当社が参画する、世界初の医薬品原薬・中間体の開発製造受託事業会社 Pharmira(株)が本年4月に始動。
- 当社は石油化学プラントで培ってきた連続生産技術を基に医薬品分野で実装化に貢献する。
- 連続生産技術の水平展開により、ライフサイエンス分野ビジネスを強化していく。



当社のフロー反応装置



Pharmira(株)西脇社長、北村取締役と当社榊田会長兼社長、山東特別顧問

### 連続生産方式に期待される点

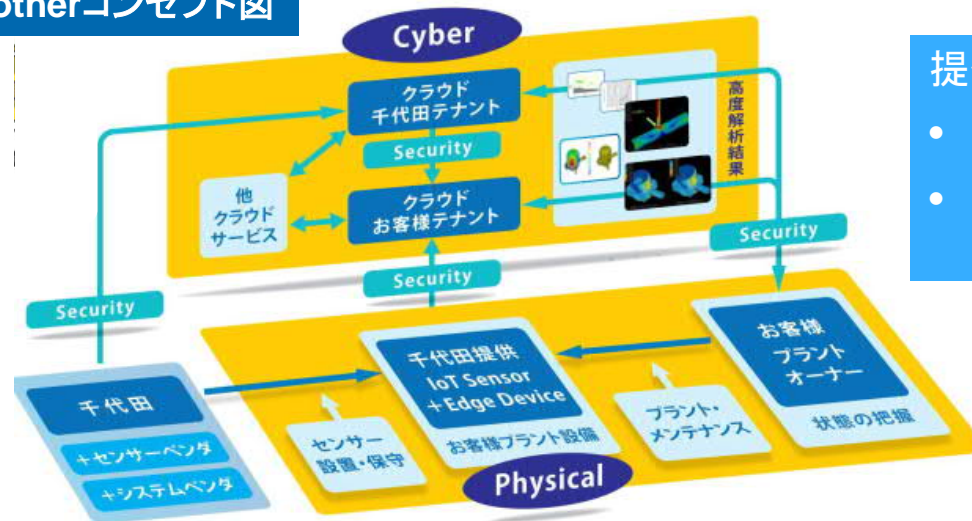
- ✓ 開発コストの削減
- ✓ 開発期間の短縮
- ✓ 製造コストの削減
- ✓ 高品質、安定供給

## 5 デジタルトランスフォーメーション(DX)

### プラント運転・保守の最適化ソリューションEFEXIS®の拡充 「O&M Mother」

- ChAS事業\*で提供してきた高度診断・解析技術と最新のIoT・クラウド技術を融合。
- プラントの状態をオンラインでクラウドを介して可視化、運転・保守(O&M)を効率化。
- EFEXISソリューションの提供により、顧客のプラント操業のDXを実現する。

O&M Motherコンセプト図



提供ソリューション(第1弾)

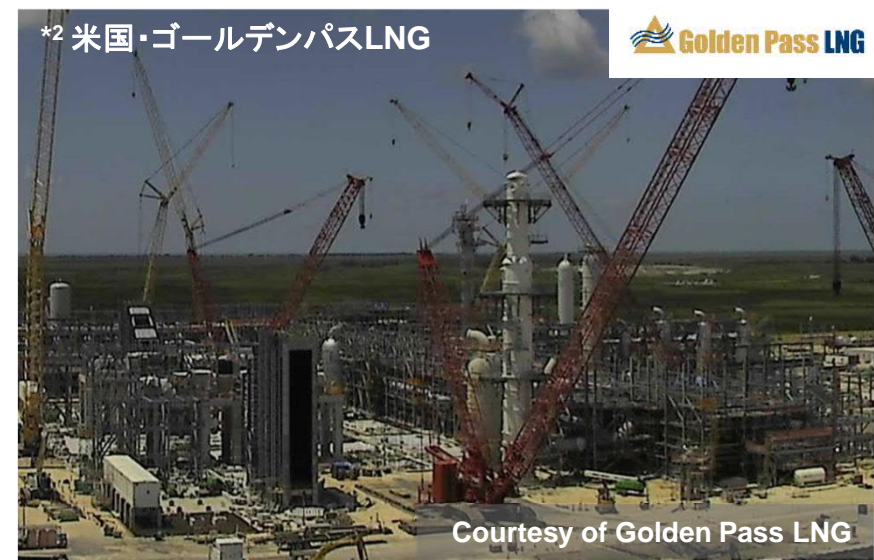
- 配管腐食の可視化
- 回転機器の異常予知・余寿命診断

\* Chiyoda Advanced Solutionの略。診断や解析(シミュレーション)、コンサルティングを活用して、プラントの状況を適切に把握、プラントの将来を予測し、対応を図ることをワンストップで行い、プラントの安定・安全操業を支援。

## Ⅲ 主要遂行中案件

# 1 主要遂行中案件(エネルギー分野)

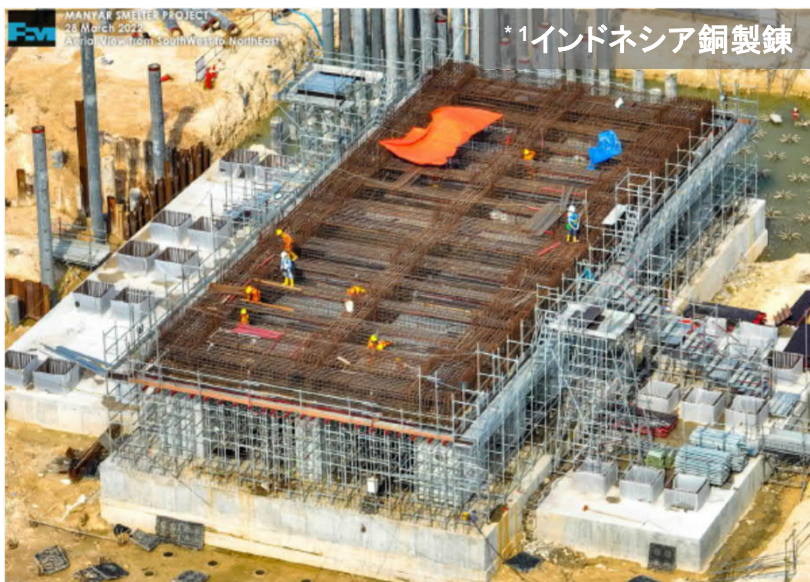
案件	インドネシア・タングーLNG*1	米国・ゴールデンパスLNG*2	カタール・NFE LNG
顧客	BP Berau Ltd.	Golden Pass LNG (QatarEnergyとExxonMobilのJV)	QatarEnergy
パートナー	Saipem, Tripatra	Zachry, McDermott	Technip Energies
納期	Start up 2023年	2025年	2027年
遂行状況	建設工事終盤、完工に向けて遂行中。	建設工事が本格化し進捗中。	設計・調達遂行及び本設プラントの建設工事開始。





## 2 主要遂行中案件(地球環境分野)

国内案件	インドネシア銅製錬 <sup>*1</sup>	ワクチン原薬製造設備	蓄電池システム <sup>*2</sup>
事業分野	非鉄金属	ライフサイエンス	エネルギーマネジメント
顧客	P.T. Freeport Indonesia	塩野義製薬(株)	北海道北部風力送電(株)
納期	2024年	2022年	2023年
遂行状況	設計・調達遂行並びに建設工事本格化し進捗中。	1ラインの増設、付帯設備のEPC業務を遂行中。	建設工事を遂行中。



Courtesy of Freeport-McMoRan Inc. From "FCX Conference Call 1st Quarter 2022 Results"



\*2北豊富変電所蓄電池システム(建設中)

# *E nergy and E nvironment in H armony*



千代田化工建設株式会社 総務部IR・広報・サステナビリティ推進セクション <https://www.chiyodacorp.com/jp/>

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。